

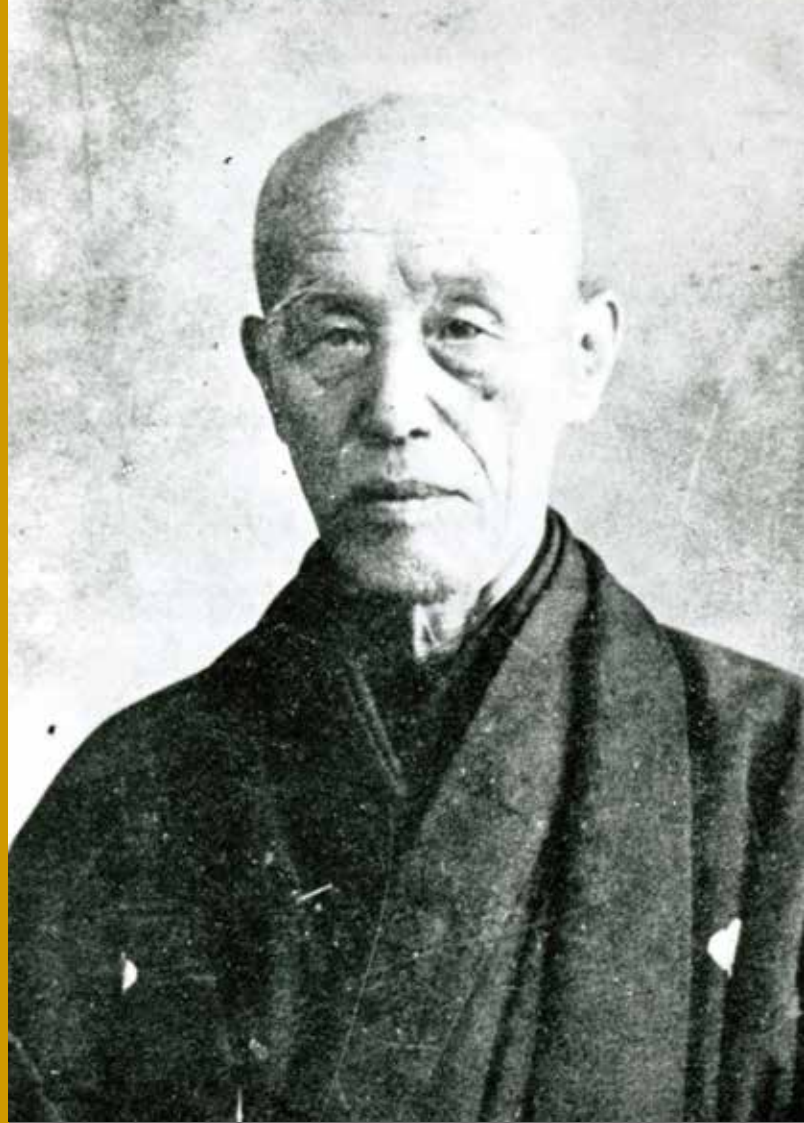
なかむら

みちた

中村 道太

天保7年（1836）～大正10年（1921）

吉田関屋町（現 市内関屋町）出身



明治10年（1877）、中村道太の尽力によって豊橋本町に第八国立銀行が設立された。国立銀行は、全国で153行つくられたが、豊橋が8番目として全国の大都市に先がけて設立できたのは、ひとえに道太の先見性によるものであった。

第八国立銀行設立後、翌明治11年（1878）12月には初代渥美郡長に就任したが、その翌年には郡長を辞任。福沢諭吉の紹介で大蔵卿大隈重信を知り、明治13年（1880）には横浜正金銀行頭取に就任した。市内今橋町豊橋公園内に「中村道太碑」がある。

初代渥美郡長であり、
第八国立銀行を豊橋に
設立した実業家